

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	国立台湾大学 (国名: 台湾)	
留学先学部名(またはプログラム名)	法学部	
留学期間	H26 年 9月 ~ H27年 1月	
学部/学府・年次	法学部/学府	4年次~ 4年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	留学期間開始前に卒業単位を取得した。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) ③. その他(具体的に: 海外の大学)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	影響した。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	中国語の授業 ・General Chinese Course 2h × 3 / week ・Enhance Chinese Course 2h × 2 / week 台湾語の授業 週一回 法学部関係 ・強制執行法 ・知的財産法 ・法学関連文献翻訳(日→中) 等	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>留学開始時期において、留学生サポーターという制度が存在する。生活面や言語面において台湾人の学生がサポートしてくれる制度である。台湾大学はキャンパスが広いので、生活に慣れるために、このサポート制度は非常に有用なものだと感じた。言語面から生活面まで広い範囲にわたるサポートである。</p> <p>住居面についても、とても快適な部屋を借りることができた。学校が提供しているドミトリーは築約5年という比較的新しい宿舎であるし、24時間のサービスデスクもある。また、セキュリティの面でもしっかりとしていると感じた。部屋の広さは、玄関と風呂トイレを除いて8畳ほど。冷水・熱水がでる共用の給湯器あり。話ができる共通スペースや卓球台等もあり。</p> <p>語学面については、留学生専用の中国語コース(追加料金不要)が充実しているので、特に不安を感じる必要はないであろう。中国語コースも、最初にクラス分けのテストを受け、自分の同じくらいのレベルの学生と一緒に学習することができる。教師の水準も高いものといえる。また、自分の所属するクラスが自分に合わないと感じる場合にはクラスの変更もできるので、サポート体制も良好なものといえる。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>今回の台湾大学での留学を通して、留学の目的としていたビジネスレベルの中国語の習得をおおむね達成することができたので、とても満足している。留学先であった台湾大学は、中国語のコースも充実していた。台湾の中でも非常に伝統のある大学で学ぶことができたのはとても貴重な経験であった。また、キャンパスも、歴史ある建物と最近建てられた現代風の立派な建物があり、充実している。また、有名な椰子の並木道はとても美しい。キャンパス内の施設はよく管理されている。</p> <p>留学生のサポート体制については、渡航したばかりの際にも、留学生担当のオフィスの方が、手続等のやり方について丁寧に教えてくれたのはとても助けになった。また、定期的に留学生活において何か困ったことがないか心配してくださり、とてもありがたく感じた。</p> <p>学生についてであるが、とても学習意欲・学習レベルの高い学生が多く、共に切磋琢磨しあえる学友をたくさん見つけることができた。その点で、台湾大学に留学することができたのはとても貴重な経験だと感じる。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>台湾大学は、台湾で最も伝統のある学校であり、高い意欲を持った学生がたくさん集うところなので、学習する上でとても良い環境だと感じる。宿舎も清潔で、住みよい。ただし、キャンパスがとても広く、移動の際に骨が折れるので、ぜひ早いうちに自転車を購入することをお勧めする。言語面では、中国語はもちろんのこと、英語もしっかりと学習してから留学に臨むべきだと強く感じた。勉強してもしすぎることはない、ということだ。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>Visiter visa</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・査証 ・申請書(オンライン申請後事務所に持参) ・健康診断書(所定の書式あり) ・証明写真 ・予約済みの航空券(コピー) <p>必要書類をそろえ、台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処にて提出。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>約1週間</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>所定の書式の健康診断書が必要。この審査が思ったよりも厳格。</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	通常は、毎日7時に起床し、8時から10時の中国語のクラスに出席します。ちなみに夜の中国語クラスを選択することもできます。授業を入れていない時間も多ありますが、午後5時過ぎに授業が終わります。そのあと、課外活動に参加したり、友達と夕食を食べに行ったりします。夜市は夜中まで開いているので、ついつい夜更かしてしまいがちですが、次の日に授業がある場合、夜更かしは禁物です。週末は、友人と旅行に行ったり、ボランティア活動に参加したり、サッカーなど運動をしたりしていました。日本での生活より慣れないことも多く、疲れやすいので、できるだけ午後は部屋に戻って幾らか昼寝をするようにしていました。こうすることで、疲れをずいぶん軽減することができたと感じます。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 8万 円/月 (生活費内訳)住居費: 2万8千 円、光熱水料: 2000 円、 通学費: 0 円、 食費: 3万 円、電話代: 0 円、インターネット代: 1500 円、 書籍代: 3000 円 その他:(具体的に) 交際費 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	PC、無線LAN中継器必要 変圧器不要 調味料(お好み焼きソース等) 胃腸薬・風邪薬・目薬など薬系 マイ箸など
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	台湾大学のキャンパスはとても広く、特に私が留学していた法学部のキャンパスは遠いので、自転車が必須です。キャンパスの自転車ショップで、新品が約7000円ほどで購入できます。治安に関しては全く問題ないです。ただし、女性の夜間の一人歩きはやはり危険かと思います。ひったくり等も起きているようですので、金目のものは肌身離さず持つておくのが最善でしょう。それから、日本に比べて交通法規を遵守する人が非常に少ないので、出歩く際、また自転車に乗る際には細心の注意が必要です。特に、歩きスマホやイヤホンをしたまま歩くのは非常に危険です。そこは日本の感覚と違うので注意が必要です。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	自分に関していえば、ある程度の現金を持っていきそれ以外はクレジットカードの海外キャッシュサービスを利用していました。ただ、親が訪台した際にもある程度の現金を持ってきてくれたので、海外キャッシュサービスは一度しか利用しませんでした。銀行口座については、半年のみの留学だったので、開設はしませんでした。一年の場合は開設することもできるかと思います。ただし、開設できるのは居留証(ARC)を取得してからしか基本的にできないようです。一人の友人は、クレジットカードをATMに入れたまま帰ってこなかったということがあったので、クレジットカードを利用する予定の方は2枚持つておいたほうが安全かもしれません。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	台北市中正區思源街 16-3 號	
費用(月額)	7400 台湾ドル 2 万 8 千円 (一人部屋の場合)	
どのようにして見つけたか	大学の斡旋により	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	推薦できる。築 5 年で新しい割には家賃も割安であるし、とても清潔だから。また、セキュリティもしっかりしており、家賃も手ごろでもあるので推薦できる。ちなみに、24 時間サービスデスクに管理人が常駐している。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	生活する上で特に不便だと感じることはないが、公共のトイレが日本ほど多くはないという点が不慣れな点だと感じる。 宿舎に台所がないので、食事はすべて外食になります。日本と比べると手ごろな価格で食事をすることができます。油ものと炭水化物をどうしても摂取しすぎてしまうので、意識的に野菜を食べるように心がけて、健康に気をつけることをお勧めします。また、冬は部屋に暖房がないのでしっかりと着込んで寒さ対策をすることが必要です。冬は気温の変化が特に激しいので風邪に注意が必要です。	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
台湾の旅しおり	http://heppy.exblog.jp/	台湾各地のスポットについて紹介したサイトです。

--	--	--

6. その他の特記事項

特になし